

宮城県感染症発生動向調査情報(第50週)

宮城県【平成25年12月19日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2013.12.9 ~ 12.15 ・ 第50週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所					仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第47週	第48週	第49週	第50週
水痘	14 2.80	21 2.10	21 4.20		2 0.67	16 3.20	3 1.50	22 0.85	99 1.71	3,201	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎	1 0.20	3 0.30	2 0.40		6 2.00		35 17.50	4 0.15	51	1,152	○ →	○ →	○ →	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	46 9.20	105 10.50	75 15.00	28 14.00	23 7.67	82 16.40	48 24.00	381 14.65	788 13.59	15,281	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	2 0.40	9 0.90	1 0.20					2 0.08	14 0.24	4,604	◎ →	◎ →	○ →	レ
伝染性紅斑		3 0.30		1 0.50	2 0.67	1 0.20	1 0.50	32 1.23	40 0.69	756	○ →	レ →	→	○
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	5 1.00	1 0.50	3 1.00	2 0.40		21 0.81	37 0.64	1,851	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	1 0.13					4 0.50	14 0.33	19 0.20	15,782		→	○ →	○ →	レ
咽頭結膜熱		3 0.30	2 0.40	1 0.50		1 0.20	8 0.31	15 0.26	739		→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67	1 1.00			1 1.00	2 0.33	6 0.50	164		→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12 2.40	27 2.70	6 1.20	12 6.00		37 7.40	41 1.58	135 2.33	4,890		◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	1 1.00	2 2.00	1 1.00		9 9.00	3 0.60	17 1.42	903	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	10 2.00	9 0.90		1 0.50	1 0.33	6 1.20	33 1.27	60 1.03	1,235		◎ →	◎ →	◎ →	◎
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	2	1	3		1	11	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病							1	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	不明発疹症							2						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※														

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第48週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.08)、鹿児島県(1.42)、岩手県(1.36)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は41例と前週と比較して増加した。都道府県別では19都府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(13例)、10代(1例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(4例)、50代(2例)、60代(5例)、70代(8例)、80歳以上(4例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は4,266例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約70%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.64)、佐賀県(1.48)、鹿児島県(1.44)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(5.50)、北海道(3.44)、山口県(3.26)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(21.97)、埼玉県(19.42)、富山県(17.28)である。**水痘**: 報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.35)、福井県(3.23)、富山県(3.03)、宮崎県(3.03)である。**手足口病**: 報告数は第45週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(4.53)、宮崎県(3.94)、佐賀県(2.96)である。**ヘルパンギーナ**: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(0.43)、富山県(0.21)、山口県(0.17)、香川県(0.17)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(1.83)、富山県(1.60)、岩手県(1.37)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 2週連続で増加した。都道府県別では14都道府県から23例報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～4歳(15例)、5～9歳(2例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核
- 仙南管内 男性1名
 - 塩釜管内 男性1名
 - 大崎管内 女性1名(第48週)、女性2名
 - 栗原管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名
- 3類感染症: 報告なし
4類感染症: デング熱
- 仙台管内 女性2名(関連、推定感染地域: 国外)
- 5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
- 塩釜管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- [感染性胃腸炎]
気仙沼管内で警報値を超えた。
[流行性耳下腺炎]
気仙沼管内で警報継続中。
[水痘]
大崎管内で注意報値を超えた。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

- 塩釜管内 第50週採取分 ノロウイルスGⅡ 3件
- 石巻管内 第50週採取分 ノロウイルスGⅡ 2件
- 第50週採取分 ノロウイルスGⅡ 2件

感染性胃腸炎患者より

- 塩釜管内 第47週採取分 ヒトパレコウイルス1型遺伝子 1件
- 第48週採取分 エコーウイルス6型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第48週採取分 (11.25～12.1)	第49週採取分 (12.2～12.8)	第50週採取分 (12.9～12.15)
インフルエンザウイルスA(H3)	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
RSウイルス	4件	4件	3件
アデノウイルス	0件	1件	0件
サトメカウイルス	0件	1件	0件

[感染性胃腸炎]

今週気仙沼及び仙台市若林区保健所管内で警報レベル基準値(1定点当たり20人)を超えたため、県は「感染性胃腸炎警報」を発令しました。集団発生の状況からノロウイルスが流行の主流と考えられるため、手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理が必要です。他の管内でも急増しているため、今後更に注意を要します。

ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/kyokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

嘔吐下痢症予防ポスター(県保健福祉部疾病・感染症対策室)

<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/86905.pdf>